





丸山

橋を渡るとほどなく、ぽつこりと盛り上がった「丸山」が見えてきます。その起源は不明ですが、地元の人がツツジを植えており、春には一面ツツジの花で覆われます。



クヌギ林

小国は椎茸栽培も盛んで、ここでは椎茸栽培のほだ木に適したクヌギが植えられています。クヌギは落葉広葉樹なので林内はとても明るく、地面には季節の多様な野花が咲いています。



牛の放牧

肥後の赤牛で知られる和牛が道路に面した牛舎で飼われており、近づくときたま顔を出してくれます。近くの休耕田を利用して放牧も行われており、ほのぼのとした田園景観を形成しています。



西村大神宮

民家の間を抜けると西村大神宮の鳥居が見えてきます。いつ終わるとも知れない急な石段を登ると、巨木に囲まれた社殿が現れます。



幸野川橋梁

鉄筋の代わりに竹を入れた「竹筋橋」と言われる幸野川橋梁。国の有形文化財に登録されています。機能美を追求したアーチ橋は美しく、その下には川のせせらぎが上から聞こえてくる不思議なポイントがあります。



大岩と小川

目の前には田畑とクヌギやコナラの広葉樹林が広がり、そばを流れる小川のせせらぎが心地よく、また大きな岩がその景観にコントラストを与えています。のんびり散策するにはうってつけの場所です。



紅葉のトンネル

ここは旧国鉄宮原線の廃線跡でも特に広葉樹の多い区間で、そのほとんどが落葉広葉樹です。特に尾根を切りとおした場所は両側から落葉広葉樹が覆いかぶさっており、秋には美しい紅葉のトンネルを形成します。



眺望地点

西村周辺の廃線跡では開けて見晴らしの良い場所が多く、その中でも幸野川橋梁の上からの眺めは里地・里山景観を一望できるビューポイントです。特に晴れた日は湧蓋山を望むことができお勧めです。



水路

道路と集落の間に昔の生活を偲ばせる水路があります。水路沿いに歩くとそのせせらぎが心地よく、里地・里山景観と相まって望郷の想いにかられます。

小国の森林

小国町は隣接する日田市とともに古くから林業が盛んであり、「小国杉」の産地として知られています。現在でも比較的管理が行われている森林が多く、その多くが日本独自の森林認証制度「SGEC」の認証を得ている森林であり、環境に配慮した森づくりを目指しています。今後は経済林としてだけでなく、水源涵養機能や生物多様性機能、防災機能、そしてこのような人々が憩うことできる景観・アメニティ機能を高める管理を行っていきます。



木魂館

北里柴三郎博士の「学習と交流」を次代につなげることを目的に作られた研修宿泊施設です。地域づくりの中心施設のひとつとして、多彩なイベントでも知られています。敷地内には、緑の芝に覆われたグラウンドがあり、様々なフィールドスポーツが楽しめます。ゆったりと日なたぼっこするにも最適です。



駐車場

西原橋横の駐車場は乗用車3台の駐車が可能です。また、ゆうステーション、木魂館の駐車場をご利用ください。

- ### 「廃線跡歩き」のルール
- 1 自分の出したごみはすべて持ち帰ること。
 - 2 喫煙者は必ず携帯灰皿を使用すること。
 - 3 動植物を大切にすること。
 - 4 住宅等の近くを通る時は、地域の方に迷惑をかけないように、特に気をつけること。
 - 5 陽が暮れ始めたら廃線跡には入らないこと。

注意事項

遊歩道内では、事故・怪我のないよう十分注意して行動してください。万一事故・怪我が生じた場合、自己責任となることをご承知ください。

